

1 単 元 修学旅行を楽しもう

2 指導計画 (12時間完了)

- (1) インターネットの信ぴょう性を知ろう . . . . . 1 時間
- (2) インターネットで調べよう . . . . . 2 時間 (本時)
- (3) 調べた内容を確認めよう . . . . . 1 時間
- (4) 調べた内容をまとめよう . . . . . 1 時間
- (5) 修学旅行で情報を集めよう・思いを記録しよう . . . . . 2 時間
- (6) 修学旅行での情報・思いを追加しよう . . . . . 1 時間
- (7) 新聞を作ろう . . . . . 3 時間
- (8) 5 年生に伝えよう . . . . . 1 時間

3 本時の指導

(1) 目 標

○ 修学旅行の見学先について理解を深めるために、インターネットを利用して調べることができる。

(2) 情報教育に沿ったねらい

○ リンクされた Web ページから、必要な情報を抜き出し、グループ分けをすることができる。

(3) 準 備 視点別カード 色鉛筆 国語辞典

(4) 指導過程

時間配分	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点	評価の観点と方法
55分  (35)	1 リンクされたインターネットサイトから、必要な情報を選び出す。	○ 必要な情報とは、建立年月日、建てた人物、建てられた目的、特徴であることを意識させる。	○ 必要な情報を抜き出しているかどうか、印刷された文書からとらえる。
(20)	(1) どのサイトに必要な情報がのっているか探し出す。	○ 5人グループで活動し、インターネットサイトを分担して調べるように促す。 ○ 自分の調べる課題の情報の Web ページを選ぶように声をかける。 ○ Web ページ内に必要な情報がどこにあるか大まかにつかませる。	
	(2) 必要な情報の部分をコピーして文書ソフトにはり付けて印刷する。	○ 必要な情報が書いてある段落をコピーし文書ソフトにはり付けさせる。 ○ 印刷した文書には、どこのサイトのものか分かるようにメモさせておく。	

20分	2 Web ページを印刷し、建立年月日は赤、建てた人物は青、建てられた目的は黄、特徴は緑色、分からない言葉には黒色でアンダーラインを引く。	<p>○ 必要な情報は何かを意識させるように板書しておく。</p> <p>○ 分からない言葉は国語辞典やインターネットで調べるように声をかける。</p> <p>★ 必要な情報に線が引けていない子どもには、情報がどこにあるか一緒に確認する。</p> <p>○ 子どもが混乱しないように、黒色のアンダーラインは他の色と重なることがあることを伝える。</p>	○ 必要な情報を抜き出しているかどうか、プリントへの書き込みからとらえる。
15分	3 情報を建立時期、建てた人物、建てられた理由、特徴に分け、視点別カードに記入する。	<p>○ 書き込みされた情報を種類ごとに分かりやすく分けられるように、色分けした視点別カードに記入させる。</p> <p>○ 視点別カードには2つ以上の情報を書かないように指示する。</p> <p>○ 次時は同じ建物を調べた情報を見比べて正しい情報かどうかを話し合うことを知らせる。</p>	○ 情報を種類ごとに分けられているか、視点別カードの記入からとらえる。

#### 4 実践の様子

##### (1) インターネットの信ぴょう性を知ろう

平等院についての記述があるWeb ページを3種類印刷して、子どもに配布した。その3種類とは、「平等院公式ホームページ」、「京都観光庁のページ」、「個人が書いたブログ」である。「個人が書いたブログ」には、建てられた年号に間違った記載がある。その後、「平等院はいつ建てられたのかこの資料から調べなさい。」と発問し、建立された年号が書いてある部分に線を引かせた。しばらくすると何人かの子どもが、「あれ、なんで。」とつぶやき始めた。3種類のページで年号の違いがあることに気が付いたのであった。



【3種類の資料を見比べる】

3種類のページの発信源を明かし、「どの情報が間違っていると思う。」と発問すると、子ども全員が「個人のブログ」と答えた。なぜかを聞くと様々な意見が出た。

##### 子どもから出た意見

- ・ 公式ホームページはたくさんの人で作っているので間違いが少ないと思う。
- ・ 個人のブログはチェックしていないから間違っていることがあると思う。
- ・ 京都観光庁のページは、京都の人が調べて作っているので間違いがないと思う。

インターネットにも間違っただ情報が存在することを実感した子どもは、どのようにすれば正しい情報を手に入れられるかを考え、話し合った。

話し合いと、教師の話により、以下の2点  
が大切であることを確認した。

- ・ 情報発信源を確認し、公式ホームページか責任ある団体の発信しているページから調べる。
- ・ 一つの情報発信源だけに頼るのではなく、複数の情報発信源から調べる。



【話し合いをする子ども】

## (2) インターネットで調べよう

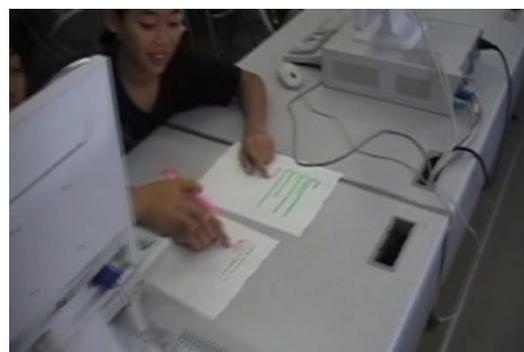
本学級には調べ学習をする時、本文を丸写ししてしまう子どもが多い。そこで今回は建立年月日、建てた人物、建てられた目的、建物の特徴に注目して調べさせることにした。教師がリンクしたWebページを、必要な情報があるかどうか確認し、印刷をした。

印刷したページに観点別に色分けして線を引かせた。

子どもたちはどの情報か確認しながら線を引いて行った。すると鹿苑寺について調べていた一人の子どもが「先生、これ間違ってる。」とつぶやいた。見ると、鹿苑寺ができたのは1937年と書いてある部分と1397年と書いてある部分を指さしていた。

「1937年ってこんなに新しいわけないし、これホームページを作った人が打ち間違えたのかな。」と話し、インターネットには間違いがあることを再度実感していた。

その後、観点別に色分けされたカードへ情報を転記していった。カードには情報と共に情報発信源を明記できるようになっており、子どもは情報発信源を明記していた。



【間違いを発見する子ども】

## (3) 調べた内容を確認しよう

観点別にされた情報を見比べて、正しい情報かどうか確認していった。カードが色別になっているので、観点ごとに仲間分けをしやすくなっていた。

「建てられた年はすべて一緒だった。」と話す子どもが多く、情報をしっかり確認しようとする態度が見受けられた。

しかし、建物の特徴になると、情報源には様々な種類の内容が書いてあった。「先生、この情報一つの情報源にしか書いてないけどいいのかな。」と困惑した様子だった。

特徴など多くの種類の内容があるものは、建てられた年など答えが一つしかない情報に比べ見比べることが難しかった。私が、「情報発信元はどこかな。」と確認すると、「公式ホームページです。あ、だからこれは合っていると思う」と答えた。

また、見比べることができなかった情報は、現地の見学で確認してくることになった。



【観点別に見比べる子ども】

## 5 成果と課題

- 調べる課題を観点別にすることで、何を調べるべきか明確になり、理解が深まった。
- 理解が深まることによって、実際に見学する時の子どもの観点がはっきりした。
- 必要な情報と、必要でない情報を分け、抜き出すことができ、丸写しする子どもはいなかった。
- Webページには間違っている情報もあることを体験させることによって、発信源を確認することや、複数の情報源から見比べる必要があることを実感し、行動に移すことができた。
- 建物の特徴は様々な種類の情報が載っており、見比べることが難しく、子どもは困惑してしまった。
- 複数の情報源を見比べることにばかり意識がいきってしまい、情報発信源の確認を怠ってしまう子どもがいた。